

□最近の活動状況

【定期講演会】

— 9月20日(水)ザ・セレクトン福島 —
講 師 キヤノングローバル戦略研究所
研究主幹 宮家 邦彦 氏
テ ー マ 「地政学と日本の大戦略」

(一財)とうほう地域総合研究所、(公財)福島県産業振興センターとの共催、(株)東邦銀行の協賛、福島民報社と福島民友新聞社の後援による定期講演会を開催し、会員の方々をはじめ約300名の方が聴講しました。



講演会風景



講師 宮家 邦彦 氏

「地政学と日本の大戦略」というテーマで、アメリカの政治事情を踏まえた上で北朝鮮と南シナ海の動向などについて分かりやすく解説して下さいました。

弾道ミサイルの発射や核実験を相次いで行っている北朝鮮については「戦争をしたいのではなく生き残るために核を持つしかない。軍事的挑発ではなく外交的挑発をしている。日本国民は、北朝鮮の一挙手一投足に一喜一憂せずに冷静に考えてほしい」とお話しされました。

【平成29年度通常総会】

— 6月28日(水)ザ・セレクトン福島 —

平成29年度通常総会が福島市の「ザ・セレクトン福島」にて行われ、平成28年度の事業報告、決算報告に続き今年度の事業計画と予算について議案を審議し、いずれも原案通り可決しました。

また、役員体制の一部変更について審議が行われ、渡部世一代表幹事が退任し、後任として高橋雅行・(株)福島民報社代表取締役社長が代表幹事に選任されました。

その後、会員懇親会を開き、初参加者とともに和やかな雰囲気の中親睦を深めることができました。



代表幹事を退任された渡部顧問

【第41回経済同友会東北ブロック会議】

— 7月13日(木)～14日(金)山形グランドホテル —

経済同友会東北ブロック会議が7月13日から2日間、山形市で開催され、北海道、新潟を含む各同友会会員約180名が参加、福島からは浅倉代表幹事、高橋代表幹事、阿部代表幹事をはじめ9名が出席しました。

始めに鈴木隆一山形経済同友会代表幹事が「東北には高い技術力を誇る付加価値の高いものづくり企業が集積している。東北の今後のものづくり産業の振興と将来ビジョンを話し合い、東北創生、地域創生につなげていきたい」と挨拶しました。来賓の吉村美栄子山形県知事の歓迎挨拶の後、慶應義塾大学先端生命科学研究所の富田勝所長による「慶應鶴岡キャンパスの挑戦」と題した基調講演が行われました。

パネルディスカッションでは「未来へそして世界へ、東北の“ものづくり”振興策と戦略は」をテーマに、山形県における取り組み事例や成功例が紹介され、人材育成のあり方などについて意見交換が行われました。

その後、各同友会代表幹事による感想発表において、浅倉代表幹事が「世界に通用するためには、常に技術を進化させていかなければならない」と述べました。

2日目は、慶應先端生命科学研究所や加茂水族館、山居倉庫などを視察しました。

来年は新潟県を会場に開かれます。東北ブロックの同友会メンバーと交流する絶好の機会ですのでぜひ多くの会員のご参加をお願いします。



鈴木 隆一 山形経済同友会代表幹事



パネルディスカッション風景



富田 勝 慶應義塾大学先端生命科学研究所所長



左から、阿部代表、高橋代表、浅倉代表

□事務局だより

○平成29年6月から9月に入会・変更のありました会員を紹介します。(敬称略)

新規入会		平成29年6月入会 伊藤 信弘 (株)いちい 代表取締役社長		平成29年6月入会 坪井 大雄 福島貸切辰巳屋自動車(株) 代表取締役社長
		平成29年7月入会 吾妻 学 キョウワプロテック(株) 代表取締役社長		平成29年7月入会 井上 賢司 (株)みずほ銀行 福島支店 支店長
		平成29年7月入会 後藤 忠久 (株)後藤歯科商店 代表取締役		平成29年7月入会 高野 恵一 日本全薬工業(株) 代表取締役社長
		平成29年8月入会 菅野 良二 (株)カンノ住研 代表取締役		平成29年8月入会 鈴木 美砂子 陽日の郷あづま館 女将
会員交代		平成29年6月交代 加藤 勝男 東邦信用保証(株) 代表取締役社長		平成29年6月交代 遠藤 隆男 東邦土地建物(株) 代表取締役社長
		平成29年7月交代 相原 禎徳 (株)秋田銀行 福島支店 支店長		

引続き会員増強にご協力をお願い申し上げます。(平成29年9月11日現在 会員数95名)

福島経済同友会のホームページにて、活動状況や今後の予定などいち早く掲載していますので、ぜひご覧ください。URL: <https://www.fukushima-doyukai.jp/>

編集日誌

- ◇読書の秋、芸術の秋、行楽の秋、皆様はどの秋を堪能されていますか？
- ◇私にとっては珍しくスポーツの秋が到来しています。
- ◇昨年10月から子どもがドッジボールのスポーツ少年団に入り、以来、練習や試合の応援で大忙しの日々を過ごしています。大人しく子どもの応援だけしていれば良かったものを、審判の資格を取得したり、ママさんの部で試合に出場したりと、自分でも驚くほど今ドッジボールにはまっています。
- ◇軽く体を動かした後は、美味しい秋の味覚を頂いてと…。やっぱり食欲の秋にはかきません。(今野)

□会員企業紹介 【第16回 株式会社エディソン】

今回は株式会社エディソンの酒井社長にインタビューしました。私たちの日々の生活において欠かせない電気ですが、その工事現場は様々な業者が同時並行で作業をするため、現場の状況に即した臨機応変な判断と周りの人との連携が大切になるとの話を伺い、明るい暮らしを支える陰の立役者であると実感しました。

○創業の経緯

私の曾祖父にあたる山下栄助が、満州にて電気工事の仕事に携わりながら技術を習得し、帰国後、大正14年3月に山下電気商会を創設しました。その当時は、関東中心に仕事をしていま



酒井 良胤 代表取締役社長

ましたが、戦時中、お得意先工場の戦火を回避する疎開に随行する形で現在の住所に移ってきました。地元の仲間とともに福島県で最大の工事会社を目指すべく組織を変更し、社名も福島県電気工事(株)とし、堅実な仕事と誠実な対応をモットーに営業してきました。社名に「福島県」と入っていたため公共機関と間違われることもあり、平成2年6月に社名を現在の「EDISON(エディソン)」と変更しました。

○社名の由来

世界の発明王トーマス・エディソンの「天才は1%のひらめきと99%の努力である」という有名な発言から、私たちは99%のパーセプション(汗・努力)を大切にしたいという思いを社名に込めました。また、「EDISON」の「E」は、長年培った技術力、「電気」のE。「D」は、デザインと開発展開。「I」は、アイデアと知恵。「S」は、安全、システムサービスとセキュリティ。これら4つの資源をお客さまのビジネス・暮らしに「ON」していく企業という意味も込められています。

○人材育成、社員教育について

ビル、工場、商店、一般住宅などの電気設備の安全を守るために、電気工事士の資格を持った人でなければ、電気工事を行ってはならないと法令で定められていますので、この資格は仕事をする上で絶対に必要です。資格を未取得の場合は、電気工事士でなくてもできる部分の補助的な業務に従事し、施工図の読み方や作業工程や作業方法を覚え、資格取得を目指してもらいます。現場主義を第一に掲げているため、先輩から技術を盗んで覚え、現場経験を積みながら成長していくことが多く、職人気質の傾向が残っていると思います。

電気工事の仕事は、常に危険と隣り合わせです。ひとつ間違えると命にかかわりますので、安全教育を随時行い、職場で働く一人一人の安全意識の徹底を図っています。

○電気の素敵を見つけたい

創業以来、電気設備・設計・施工の分野で、誠意、情熱、創造を念頭に着実に歩んで参りました。地域の皆さまに支えられ、微力ながらも産業の発展、文化・社会生活の向上、教育施設の充実など様々な分野において時代のニーズに応じて参りました。

今、電気を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。時代の要請を全身で受け止め、新しい発想で地域の発展のためにお役に立てることを努力していきたいと思えます。

電気が初めて灯った時、人々の笑顔を照らしたように、電気を通してお客さまの笑顔を更に明るく照らすことができるように励んで参ります。



住 所 〒963-8878 郡山市堤下町13-8
 設 立 1948年3月
 従業員数 69名
 T E L 024-922-3333
 U R L <http://www.k-edison.co.jp/>